



令和7年度 訪問教育の概要



茨城県立境特別支援学校

本校の訪問教育は、現在は古河市にある『芳香会病院 青嵐荘療育園』という重症心身障害者施設において訪問教育を行っています。

○ 在籍者

今年度は、小学部2人、中学部0人、高等部3人(合計5人)が在籍しています。

(令和7年5月15日現在)

○ 授業日数

週3回、年間105日を標準としています。

1回の学習時間は2時間ですが、学習時間や内容については、児童生徒の心身の状況に応じて行います。

○ 訪問教育の年間授業時数

	小学部 1～6年	中学部 1～3年	高等部 1～3年
自立活動	210	210	210

○ 学習の様子

(1) 個別や集団で学習しています。

芳香会病院青嵐荘療育園の施設内に教師が入って、児童生徒と対面授業を行っています。また、感染状況により、窓越し授業やオンライン授業に入れ換えて行います。

(2) 児童生徒の活動の様子

訪問教育の取り組みをご覧ください。

訪問教育の取り組み ～みんなの笑顔☆輝け～

訪問教育の教育目標

- 保護者や施設、関係機関と連携を図り、児童生徒の実態や学習環境を的確に把握し、感染症対策や安全対策に留意しながら支援・指導に努める。
- 周囲の人や物に気付き、自らかかわる力を育むため、学習内容や活動場所を精選し、ICTや各種教材・教具を工夫し、より一層の学習の充実を図る。
- 地域や通学生等との交流や施設との連携を推し進める。

自ら気付く力の育成

○さまざまな学習や体験を通して、「自分から気付く」力を育てます。



おんがく



プリンアラモード
を作ろう(試食)

自立活動



デジタルアートをしよう



うどん



せいさく

学校行事

令和7年度1学期始業式
(校長先生と一緒に)



さかとくフェスティバル

行事や季節、特設単位では、グループで学習をします。

「おんがく」「せいさく」「うどん」などを題材にして、個別課題に応じた学習を行います。

入学式や卒業式、さかとくフェスティバルなどの学校行事に参加します。

人とかかわる力の育成

○さまざまな人とのかかわりを通して、社会性を育みます。

地域交流(窓越しの交流)



ボランティア団体の皆様と交流をします。

授業の活動の様子から



学校の先生(校長先生や保健室、事務室等)と交流します。